

各学科・各コースにおける3つの方針

《地域生活支援学科がめざす人間像》

地域生活者の生活の質の向上を目指した支援を目的に、食と栄養・介護と福祉・多文化と国際化に関する専門知識と実践技術を修得して地域への貢献と活性化の活動ができる人材を養成し、そのための教育研究活動を行います。(学則 第3条)

地域生活支援学科 食健康コースの3つの方針

ディプロマポリシー

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士(地域生活支援学)の学位を授与する。

- ①知識と技術を相互に連携して、複合的に活用できる能力を身につけている。
- ②グローバルな視点から地域生活者への支援ができ、国際人としての感性と素養を身につけている。
- ③食と栄養についての専門知識と技術を修得しており、食をとおして地域社会と人々の、今そして未来に貢献できる実践力・応用と創造力を身につけている。

カリキュラムポリシー

「食」・「福祉」・「多文化」の3つの生活分野と「いのち」・「暮らし」・「人生」の3つの生活支援レベルを組み合わせた知識と技術を体系的に修得できるカリキュラムを編成する。

- ①共通教育科目では、建学の精神「あすなろう」を中核とし、より豊かな人間性の育成を図る。
- ②専門教育科目では、各コースに特徴的な専門的知識と技術を中核とし、コース間の横断的履修を可能とするカリキュラムも組む。
- ③食と栄養に係る分野で、「社会生活と健康」・「人体の構造と機能」・「食品と衛生」・「栄養と健康」・「栄養の指導」・「給食の運営」の6領域における科目を重視し、国家免許「栄養士」の資格取得のための専門科目を設ける。
- ④食にかかわる様々な職場で必要とされる人材育成のための科目を設ける。

アドミッションポリシー

専門的かつ複合的な知識と技術を活用して、多様な生活意識を持った人々への生活支援および地域の活性化にも貢献できる「マルチに学び、マルチに活動する」人材を養成するために、高等学校教育相当の学力、特に学修の土台となる国語(日本語)の読解力と記述力を求めます。また人々との交流をとおして、多様な意見を汲み取りながら主体性を持って協調的に行動する力を有していることを期待します。さらに次のような意欲、能力、適性を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- ①食べ物に興味関心を持ち、栄養・調理を探究できる人。
- ②食への知識や技術を磨くことに努力を惜しまない人。
- ③食の大切さや食育の重要性をとおして、人々の健康づくりを支援したい人。
- ④食にかかわる様々な職場で、人々と地域のために役に立ちたい人。

地域生活支援学科 介護福祉コースの3つの方針

ディプロマポリシー

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士（地域生活支援学）の学位を授与する。

- ①知識と技術を相互に連携して、複合的に活用でき能力を身につけている。
- ②グローバルな視点から地域生活者への支援ができ、国際人としての感性と素養を身につけている。
- ③介護に関連する専門的知識と技術と共に、利用者本位、自立支援、人権擁護の視点を持ち、職業倫理を身につけ、多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解している。さらに、地域と連携して要介護者への生活改善を支援・推進する応用力と実践能力を身につけている。

カリキュラムポリシー

「食」・「福祉」・「多文化」の3つの生活分野と「いのち」・「くらし」・「人生」の3つの生活支援レベルを組み合わせた知識と技術を体系的に修得できるカリキュラムを編成する。

- ①共通教育科目では、建学の精神「あすなろう」を中核とし、より豊かな人間性の育成を図る。
- ②専門教育科目では、各コースに特徴的な専門的知識と技術を中核とし、コース間の横断的履修を可能とするカリキュラムも組む。
- ③福祉に係る分野で「介護」の科目を「人間」「社会」「心」「体」「医療」の分野でバックアップし、国家資格「介護福祉士」の受験資格取得のための基本的な専門科目を設けると共に、より現場で必要とされる人材育成を目指すための専門教科を設ける。

アドミッションポリシー

専門的かつ複合的な知識と技術を活用して、多様な生活意識を持った人々への生活支援および地域の活性化にも貢献できる「マルチに学び、マルチに活動する」人材を養成するために、高等学校教育相当の学力、特に学修の土台となる国語（日本語）の読解力と記述力を求めます。また人々との交流をとおして、多様な意見を汲み取りながら主体性を持って協調的に行動する力を有していることを期待します。さらに次のような意欲、能力、適性を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- ①人が好きで、福祉や介護の仕事に熱意を持ち、支援を必要とする人の援助をしたい人。
- ②世の中のできごとに常に興味を持ち、社会を良くしたいという意欲がある人。
- ③介護の知識や技術、福祉制度を学修して、人々の快適な生活を支援したいという目的意識のある人。
- ④常に向上心を持ち、人と地域の福祉の向上に役立ちたいという熱意のある人。

地域生活支援学科 多文化コースの3つの方針

ディプロマポリシー

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士（地域生活支援学）の学位を授与する。

- ①知識と技術を相互に連携して、複合的に活用できる能力を身につけている。
- ②グローバルな視点から地域生活者への支援ができ、国際人としての感性と素養を身につけている。
- ③生活全般を支援するための食と福祉と多文化にまたがる汎用的専門知識と技術を修得している。さらに、グローバルな視点を持って国際社会でも活躍できる応用力と実践能力を身につけている。

カリキュラムポリシー

「食」・「福祉」・「多文化」の3つの生活分野と「いのち」・「くらし」・「人生」の3つの生活支援レベルを組み合わせた知識と技術を体系的に修得できるカリキュラムを編成する。

- ①共通教育科目では、建学の精神「あすなろう」を中核とし、より豊かな人間性の育成を図る。
- ②専門教育科目では、各コースに特徴的な専門的知識と技術を中核とし、コース間の横断的履修を可能とするカリキュラムも組む。
- ③多文化複合領域に係る分野において、「外国語」・「観光と旅行」・「ビジネス」・「ホスピタリティ」・「コミュニケーション」の科目を重視し、食と福祉分野と連携した実践的な学びと国際的視点を持って地域に貢献し活動できるグローバル人材を目指した科目を設ける。

アドミッションポリシー

専門的かつ複合的な知識と技術を活用して、多様な生活意識を持った人々への生活支援および地域の活性化にも貢献できる「マルチに学び、マルチに活動する」人材を養成するために、高等学校教育相当の学力、特に学修の土台となる国語（日本語）の読解力と記述力を求めます。また人々との交流をとおして、多様な意見を汲み取りながら主体性を持って協調的に行動する力を有していることを期待します。さらに次のような意欲、能力、適性を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- ①人々の生活と意識の多様性を柔軟に受け止め、文化や価値観の異なる人に対応し、的確な支援や生活環境の改善に貢献したい人。
- ②多様な国内外文化とことばに興味を持ち、外国語とコミュニケーション力を駆使して広く人々への生活支援業務に従事したい人。
- ③観光や旅行ビジネスに興味を持ち、地域の文化や特性を活かして人々の幸せと生活向上への支援をしたい人。
- ④外国の若者と一緒に語らい学修することに興味を持ち、海外留学を目指して国際人として羽ばたきたいとの熱望を持っている人。

《幼児保育学科がめざす人間像》

保育に関する知識と技術を備えた高い実践力を持つ保育者の養成と豊かな人間性を兼ね備えた人材の養成を目指し、そのための教育研究活動を行います。(学則 第3条)

幼児保育学科の3つの方針

ディプロマポリシー

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士(保育学)の学位を授与する。

- ①身につけた知識や技能をいかし、新たな課題を解決することができる。
- ②社会生活に必要なコミュニケーション能力や思考力・判断力を身につけている。
- ③他者と協調しながら行動し、教育・保育を通して社会に貢献できる。
- ④保育者としての知識と技術を有し、教育・保育活動を実践できる。
- ⑤以上4つの能力の修得を基盤として、コースごとに次に挙げた能力を修得している。

●表現・音楽コース：

自己表現の技術を高めるとともに、子どもの表現を豊かにするための教育・保育活動での指導ができる。

●心理・環境コース：

子どもを取り巻く環境に目を向け、子どもの成長を支え、子育てを支援することができる。

カリキュラムポリシー

質の高い保育者を養成するために必要なカリキュラムを編成し、提供します。

- ①共通教育科目では、建学の精神「あすなろう」を中核として幅広い教養と豊かな人間性の育成を図る。
- ②専門教育科目では、教育・保育に関する専門知識や実践力を体系的に修得できるようカリキュラムを編成する。
- ③「表現・音楽コース」と「心理・環境コース」の2コースを設け、個々の学生の関心を尊重し、支援するためのカリキュラムを編成する。
- ④1年生と2年生の交流による主体的・対話的な学びの機会を設けることを基本姿勢とする。

●表現・音楽コース：

ダンスや音楽、に関するコース専門科目による学びの集大成として「実技発表会」を開催すると共に、保育士に必要な造形表現の知識・技能を体得しながら、幅広い表現技術や創意工夫する力、課題解決力の向上を目指す。

●「心理・環境コース」：

地域子育て支援や幼児期の環境教育に関する体験型コース専門科目を設け、他者及び環境に対する共感力・感受性を高めながら、保育現場での課題に対応する力の向を目指す。

アドミッションポリシー

将来、保育所、幼稚園、福祉施設において、保育に関する専門知識・技術を基盤として、児童の保育及び保護者に対する保育に関する指導を行うことができる保育者を育成するために、次のような能力、意欲、態度を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- ①教育・保育に必要な基礎的学力・体力・コミュニケーション能力を身につけている人。
- ②思いやりの気持ちをもって、他者と主体的にかかわることのできる人。
- ③ルールを守り、マナーを身につけ、協働的に学ぶことのできる人。